

藤原 義章 指揮、音楽監督

東京都交響楽団創立団員、新日本フィルハーモニー交響楽団首席ヴィオラ奏者、葦崎文化ホール初代館長を務める。著書に「リズムはゆらぐ」「美しい演奏の科学」など。

藤原 秀章 独奏チェロ

南アルプス市出身。東京藝術大学付属音楽高校卒業。同大3年在学中。第67回日本学生音楽コンクール大学の部チェロ部門優勝、第13回東京音楽コンクール弦楽部門第2位、第21回おきでん新人演奏会オーディショングランプリ、第2回チャイコフスキー・ピアノトリオ・オーディション優勝。

蛭川 いづみ コンサートミストレス

桐朋学園大学卒業。同研究科修了。エコール・ルノマル音楽院(パリ)で高等演奏家資格を満場一致の首席で取得し、審査委員賞を受賞。新日本フィル団員を経て東京ユニバーサルフィル管弦楽団コンサートミストレスを務める。現在、ソロ及び室内楽を中心に国内外において活躍。

佐藤 茜 ヴァイオリン

ドイツにて6歳よりヴァイオリンを始める。帰国後、斉藤久美、中山朋子に師事。桐朋学園大学を経て、英国王立音楽院に奨学金を得て留学し、ニコラス・ミラー、ダイアナ・カミングスに師事。音楽院内で多数受賞。現在、「カルテット・カノーロ」「アンサンブル・ロカ」、独奏、オーケストラなどで活躍中。

福波 典子 ヴァイオリン

武蔵野音楽大学卒業。同大学院修了。現在フリーランサーとしてジャンルを問わず各方面にて活躍。井上武雄、F.リヒネフスキー、L.グレーラー、G.フェイギンに師事。武蔵野音楽学園講師。

光行 澄子 ヴィオラ

武蔵野音楽大学卒業。東京芸術大学大学院修了。浅妻文樹に師事。渡米、ミルトン・トーマスに師事。帰国後、東京ソリストエン団。現在はフリーで室内楽、オーケストラで活躍。「アンサンブル・クライス」「ジャパン・シンフォニア」のメンバー。

谷口 節夫 チェロ

東京芸術大学卒業。清水勝雄、堀江 泰、レーヌ・フラシヨ、青木十良に師事。NHK・FM「午後のリサイタル」に、チェロ・アンサンブル、フルート・トリオで出演。現在、フリーランサーとして室内楽、オーケストラ、弦楽四重奏団「カメラータ・フロイデ」等で活躍中。恵泉女学園非常勤講師。

井上 陽 コントラバス

国立音楽大学卒業。コントラバスを西澤誠治、永島義男、池松 宏の各氏に師事。国立音楽大学オーケストラ演奏員を務め、オーケストラ、室内楽、吹奏楽、古楽器、レコーディングなど多方面で活躍中。

駒井 朗 コントラバス

国立音楽大学卒業。卒業後カナダにてゲイリー・カーのサマーキャンプに参加。現在、東京室内管弦楽団、洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団各団員。国立音楽大学嘱託演奏員。相模原音楽家連盟会員。

龍島 亮 ファゴット

2012年、武蔵野音楽大学器楽科卒業。これまでにファゴットを井上俊次、塚原理恵、吉田將の各氏に師事。大学卒業後、洗足学園音楽大学演奏補助要員を経て現在桐朋オーケストラ・アカデミーに在籍。

佐藤 玲伊奈 トランペット

福島県出身。福島県立安積高等学校を卒業後、東京藝術大学器楽科に入学。これまでにトランペットを、佐藤秀徳、栃本浩規、佐藤友紀、古田俊博、菊本和昭の各氏に師事。室内楽を栃本浩規、古賀慎二の各氏に師事。現在、東京藝術大学音楽学部器楽科トランペット専攻4年在学中。

奥山 初枝 ピアノ

桐朋学園大学短期大学部・研究科修了。山田泉作曲「煩厭的叙情三つ」の演奏で山梨県主催山梨芸術祭最高位・水上財団賞受賞。共演ピアニストとして国内外の演奏会、CD制作等に参加。日本キリスト教団阿佐ヶ谷教会オルガニスト。桐朋学園女子部講師。

川口 聖加 ソプラノ、合唱指導

新潟大学大学院修了。オランダ王立音楽院(声楽科)卒業。仏独歌曲、バロック声楽曲、宗教曲、オペラ、現代曲など幅広いレパートリーを持ち、国内外で演奏活動を行う。CD「タケミツソングス」をリリース。

.....

西原 祐二 箏篋(ひちりき)、笙(しょう)

映画「もののけ姫」、「許されざる者」、NHK土曜時代劇「浪花の華」のレコーディングに参加。NHK「芸能花舞台」、日本TV「京都心の都へ」出演。オペラハウス、ロイヤルアルバートホール、ロイヤルフェスティバルホール、アッシジの聖フランチェスコ大聖堂等の海外公演に参加。「源氏物語幻想交響絵巻」(作曲富田勲)では、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団と共演、好評を博す。

西原 貴子 篠笛(しのぶえ)、龍笛(りゅうてき)、能管(のうかん)

日本音楽集団の横笛奏者として国内外の多くの公演に参加。両陛下御臨席の「平安建都1200年記念式典・記念祝典」、「戦後50年を記念する集い」で演奏。「題名のない音楽会」、NHK大河ドラマ「信長」では笛の名手役で出演。映画「千年の恋」"宮本武蔵"の録音及び笛指導を行う。第62回伊勢神宮式年遷宮奉賛曲「鎮守の里」(藤井フミヤ作曲)のレコーディングに参加。

中村 力哉 ピアノ

ジャズを中軸に西洋ポピュラー音楽から日本民謡、雅楽までライブ、コンサート、ミュージカル、テレビ、レコーディングで活躍中。主宰する、唄とピアノによるオリジナル・ユニット「mcasi mcasi」のCDアルバム「ホコラ」をリリース(2002)。2008年から秋元順子のサポートも務めている。



演奏する人と聴く人がともに楽しむ集い

2015 11月21日[土]－11月23日[月・祝] 笛吹市スコレーセンター

オーケストラ

指揮 藤原 義章	三宅 洋子 宮崎 克之 山田 和夫	内藤 和子 入戸野 朱美 芳賀 須磨子 福田 能明	ファゴット 加川 洋 龍島 亮 三好 純子 森田 博史	トロンボーン 駒澤 敏 田村 哲哉 本江 裕司 松並木 正臣
コンサートミストレス 蛭川 いづみ	ヴィオラ 大橋 光男 工藤 綾子 藤原 弦義 光行 澄子 南 彩子 龍崎 理誠	コントラバス 井上 陽 駒井 朗 中川 奈美 松村 一輝	クラリネット 澤田 克也 武田 勝正 永田 桂子 山際 高志	チューバ 三浦 博文
独奏チェロ 藤原 秀章	チェロ 青山 公彦 石田 香 奥津 佳之 沖野 多江子 金光 健 川幡 芳子 中島 晶光 中瀬 樹 中津川 友子 福波 典子	フルート 小俣 賢三 長谷川 ひろみ 広島 利咲 村岡 希里子	トランペット 大友 拓哉 佐藤 玲伊奈 森山 秀一	打楽器 内田 美沙子 坂本 勇磨 中川 悠太 武藤 竜也
ヴァイオリン 稲葉 今日子 江崎 正和 大津 成子 小野 和隆 見本 雄一郎 小谷 薫 小林 昭美 佐藤 茜 鈴木 美代子 千田 誠二 中島 晶光 中瀬 樹 中津川 友子 福波 典子	オーボエ 木村 真琴 信清 昌子 福田 丈雄 藤掛 智恵	ホルン 漆山 真莉 野村 直之 船山 敏 見波 弘志 山田 博司 湯山 真理絵	ピアノ 奥山 初枝	

合 唱

合唱指導 川口 聖加	辻 紀美香 鶴田 成子 中村 英子 根塚 美紀 芳賀 佑子 森田 聡子 矢崎 よしみ 安田 百仁華 安田 洋子 渡邊 むつみ	山田 美樹
合唱練習ピアノ 奥山 初枝 和田 佳律瑠	テノール 上田 理 遠藤 正文 齊木 圭二 宿澤 公夫 根塚 健治 本田 勉 山下 喜芳 渡邊 真史	
ソプラノ 秋山 聡子 雨宮 成子 今村 美加 上田 美穂子 尾上 みほか 尾上 綾音 金杉 雅恵 川島 恵美子 神成 たか子 陸田 祐子 窪田 祐子 河野 芳子 小林 明美 鷹野 幸 千野 博美	バス 志村 一夫 千野 一男 山田 哲也	

笛吹たちの
リサイタル

箏篋、笙 西原 祐二
篠笛、龍笛、能管 西原 貴子
ピアノ 中村 力哉

運営委員長
運営副委員長
運営委員

窪田 礼子
鈴木 美代子
安藤 彩子／遠藤 なおみ／大沢 静子／大橋 光男／川口 聖加
窪田 さやか／小林 晃子／小林 昭美／武田 勝正／土屋 英俊
内藤 和子／中川 奈美／中津川 友子／深田 恵美子／本江 直子
前田 晋吾／松上一平／三好 純子／望月 昇／山下 繁
山田 和夫

第9回 笛吹音楽祭

2016年10月8日(土)～10日(月・祝)
笛吹市スコレーセンター

プログラムス：交響曲 第3番
プログラムス：「悲歌」(合唱曲)
モーツァルト：フルート&ハープのための協奏曲

笛吹音楽祭では聴覚障がい者の方々をコンサートとリサイタルにご招待しております



笛吹音楽祭 運営委員長
窪田 礼子



音楽監督
藤原 義章

「第8回 笛吹音楽祭」へようこそ

本日はようこそ「第8回笛吹音楽祭」にお越しくださいませ、誠にありがとうございます。「音楽にプロとアマチュアのの違いはない」「演奏の参加資格は一切問わない」の基本理念に基づき、今年も全国からここ笛吹の地に、音楽を愛する大勢の人が集まりました。三日間繰り広げられる音楽の祭典、美しい旋律にのせて最後までどうぞごゆっくりとお楽しみ下さい。

開催にあたりまして、企業をはじめ、多くの皆様方から多大なご支援ご協力を賜りましたことを音楽祭運営委員、演奏者一同、深く感謝いたしますとともに、厚く御礼申し上げます。

料理に通じる演奏

生きるために必要な食欲。私たちは料理によって満たされます。料理を作る方法を知らなくても、おいしく味わうことができます。これは、演奏法や音楽理論を知らなくても、生きるために必要な音楽を聴いて楽しむことに似ています。いっぽう、料理する人や演奏する側は料理法や演奏法に通じていなければなりません。

料理は、食べる人の味覚や好みを知ることによって決まり、それに必要な食材や道具を用意します。煮る料理であれば、火力、食材の大きさや形、煮る順を考え、だしや隠し味で調味します。さらに、盛りつけや食器、テーブル、音楽、飾る花にも気を使います。この、トリックやマジックで成り立つ料理は、順序を入れ替えたり、量を変えたりすると、目指す料理から遠ざかってしまいます。

これを演奏に当てはめてみると、聴き手の心理や感覚、生理をとらえることが、おいしい音楽表現につながる演奏法でしょうか。さらに、会場環境などにも気をつかいます。

ひとりで過ごすことが多い私は、自炊や外食での実感で演奏と料理の関連を理解できるのですが、自前料理の仕上がりが即興的・前衛的になりがちです。古典派やロマン派を演奏する本音楽祭。みなさまのお力をいただきながら調理をまちがえないように努めたいと思います。

笛吹きたちのリサイタル

11/21 (土) 13:00

▶ホール

プログラム

【第1部 雅楽古典曲】

「春庭花(しゅんでいか)」

笙による「盤渉調々子(ばんしきちようちようし)」

「黄鐘調 越殿楽(おうしきちよう えてんらく)」

「高麗双調 白浜(こまそうじょう ほうひん)」

【第2部 ピアノとのコラボレーション】

「豊栄の舞(とよさかのまい)」…雅楽巫女舞い曲

「Ave Maria」… F.Schubert作曲

「もののけ姫」…中村力哉編曲

「相馬流れ山(そうまながれやま)」…福島県民謡

「＃1 (しゃーぷ わん)」…中村力哉作曲

出演者

ひちりき しょう
箏、笙：西原 祐二

しのぶえ りゅうてき のうかん
篠笛、龍笛、能管：西原 貴子

ピアノ：中村 力哉

ロビー・コンサート

11/21 (土) 17:00

11/22 (日) 12:00・17:00

▶ロビー

参加者の自由な発表の場

ロビー・コンサート

11/23 (月・祝) 12:30

▶ロビー

邦楽演奏：田邊 優里・窪田 さやか・窪田 礼子

鼓隊演奏：学校法人石和誠心幼稚園

アート・エキシビション

音楽祭期間中常時展示

▶ロビー

卵殻モザイク：桑原 浜子・安藤 彩子

絵画：笛吹市文化協会絵画部

オーケストラ・コンサート

11/23 (月・祝) 14:00

▶ホール

プログラム

モーツァルト：アヴェ ヴェルム コルプス

ボロディン：オペラ「イーゴリ公」より「ダッタン人の踊り」

チャイコフスキー：ロココ風主題による変奏曲

チャイコフスキー：チェロとオーケストラのための奇想的小品

―― 休憩 ――

チャイコフスキー：交響曲 第5番

曲紹介

モテット「アヴェ ヴェルム コルプス

“ave verum corpus”『まことのお体よ』 K.618

……………モーツァルト (1756-1791)……………
“アヴェ ヴェルム コルプス”はカトリックの聖体祭ミサに使われる讃美歌。このモーツァルトの没年に書かれた音楽は非常に簡潔、たった46小節3分半の“アヴェ ヴェルム コルプス”は濃密かつ透明、単純かつ微妙、深さと高さ…こういう音楽の前には、つくづく言葉は無力だと思われます。まさに珠玉の名品というべきでしょう。多くの人が自分の葬儀の時に流して欲しい、あるいはこれを聞きながら臨終をむかえたいと思っている音楽です。

オペラ「イーゴリ公」から「ダッタン人の踊り」

……………ボロディン(1833-1887)……………
ロシアの作曲家として知られるアレクサンドル・ボロディン、本業はサンクトペテルブルク医科大学の教授にして化学者で作曲は趣味。したがって作品数は少ないがこのオペラ「イーゴリ公」はロシア国民音楽の傑作として高く評価されています。実はこの作品はボロディン自身が未完のまま残したのをリムスキーコルサコフとグラズノフによって完成されたのが今日の姿なのです。オペラの舞台は12世紀キエフ王国分裂時代、南方の草原地帯からロシアに侵入した遊牧民族ポロヴェツ人と戦い不幸にして囚われたイーゴリ公は義侠心のあるポロヴェツ人の王コンチャーク汗に惚れられ仲間に入るよう促されるが断り、やがて脱走して祖国ロシアに帰還する物語。全4幕仕立てオペラ「イーゴリ公」は演奏時間3時間あまりの大作ですが当曲「ポロヴェツ人の踊り」は第2幕でくりひろげられる大合唱と踊りで盛り上がり、このオペラの頂点をなす有名な部分です。ポロヴェツ人に捕らえられ、とりことなった人々が歌う望郷の歌「風の翼に乗って飛んでゆけ」と、ポロヴェツ人がその指導者であるコンチャーク汗をたたえる「ハーンのほまれの歌を歌え」から成り立っています。ポロヴェツ人とは中国名では韃靼(ダッタン)人のことなので日本では通常「ダッタン人の踊り」と呼ばれています。

「ロココ風の主題による変奏曲」作品33

……………チャイコフスキー (1840-1893)……………
チャイコフスキーにチェロ協奏曲は存在しませんが、独奏チェロの活躍する管弦楽作品が2曲あり、その一曲がこの「ロココ変奏曲」もう一つが「奇想的小品」です。この「ロココ変奏曲」は1876年から77年にかけて当時のモスクワ音楽院の同僚ドイツ人チェリストフィッツェンハーゲンのために作曲され、華麗なる最高度のテクニクを必要とするチェロの名曲です。チャイコフスキーはあらゆる作曲家の中でモーツァルトを最高に評価し神のように尊敬していました。オーケストラの前奏に続きチェロのソロが憧れのモーツァルト

の時代18世紀への回帰を思わせる「ロココ風の主題」を歌い、次々と繊細にして華麗な7つの変奏曲を繰り広げます。歌うチェロ、最低音からヴァイオリンも顔負けの高音までかけめぐるはなやかなチェロの美技を堪能できます。

チェロとオーケストラのための「奇想的小品」作品62

……………チャイコフスキー (1840-1893)……………
1887年(チャイコフスキー 47歳)の作品。作曲時期としては後期の入り口あたりで、交響曲第5番の前年の作品です。作曲家としての名声が確立し、指揮者活動を開始した時期に当たります。題名を直訳すると、「小さな奇想曲」。憂いを秘めた短調から始まる部分と、独奏者に高度なテクニクを強いるも、どこかおどけてかわいらしくも聞こえる長調の部分が気まぐれに(伊: capriccioso)出現する小曲です。

交響曲 第5番 ホ短調 作品64

……………チャイコフスキー (1840-1893)……………
チャイコフスキーは生涯に6曲の交響曲を作曲しており、今日演奏会で多く演奏される人気作は第4番へ短調、第5番ホ短調、第6番ロ短調「悲愴」です。どれもメランコリックなメロディーと美しいオーケストレーションを両立させた独自のスタイルを持っています。交響曲第5番は1888年5月から8月にかけて作曲されチャイコフスキー 48歳の作品です。初演はその年11月17日ペテルスブルクで作曲者自身の指揮によって行われましたがあまり成功とはいえませんでした。聴衆は喝采したものの、批評家たちに冷たくこきおろされ、チャイコフスキー自身も自信を失いかけたようですが、その後モスクワやハンブルクで好評を得るようになると彼もこの曲に自信を持つようになりました。最初不評、のちに評価を高め大衆人気沸騰で不滅の傑作となる!とはチャイコフスキーの名曲の場合よくあることです。「白鳥の湖」しかり「眠れる森の美女」しかり、ピアノ協奏曲第1番しかり、ヴァイオリン協奏曲しかりと。曲の最初、第1楽章の冒頭は運命を思わせる陰鬱なテーマで悲劇的に始まりませんが、アレグロの主部に入り盛り上がり雄大に展開します。最後は華やかでなく低音楽器の最弱音で終わります。第2楽章はアンダンテカンタービレ、ホルンのソロの主題と全弦楽器のユニゾンの威力が印象的な楽章です。第3楽章は典雅で軽快なワルツ楽章、第4楽章は序奏として冒頭の運命テーマがより明るく肯定的なたたずまいで奏された後、主部アレグロ・ヴィヴァーチェに入りロシア民謡調主題で強烈に始まり壮大に展開します。最後勇壮に終結するため古今の交響曲で最も人気が高い曲、なによりオーケストラ、聴衆も合わせて熱くなってしまう音楽です。人気作「チャイ5」は日本のプロオケ、アマオケ合わせたオーケストラ演奏会で最も演奏回数が多いロシア音楽かもしれません。

(Va.大橋光男)